
伊勢崎市教育委員会会議録

令和8年1月19日

伊勢崎市教育委員会

開催年月日 開催の場所	令和8年1月19日（月） 市役所北館4階会議室 ◇ 会 議 日 程 ◇ 第1 開会宣言 第2 会議録署名委員の指名 第3 前回会議録の承認 第4 会議録署名委員の署名 第5 教育長報告 第6 事前質問事項 第7 議事 第8 その他の事項 第9 閉会宣言 ※出席委員 三 好 賢 治（教育長） 里 見 哲 也（教育長職務代理者） 野 口 理英子（委員） 矢 島 祐 介（委員） 佐 塚 公 代（委員） ※説明のため出席した者 <table border="0"> <tr> <td>教 育 部 長</td><td>二 上 哲 也</td></tr> <tr> <td>教 育 部 副 部 長</td><td>田部井 恵美子</td></tr> <tr> <td>総 務 課 長</td><td>大 平 貴 清</td></tr> <tr> <td>総務課政策調整担当</td><td>井 野 幸 枝</td></tr> <tr> <td>教育施設課長</td><td>井 上 宗 春</td></tr> <tr> <td>学校教育課長</td><td>神 立 誠</td></tr> <tr> <td>四ツ葉学園中等教育学校事務長</td><td>杉 原 啓 介</td></tr> <tr> <td>学 務 課 長</td><td>関 根 由 夏</td></tr> <tr> <td>健康給食課長</td><td>百 瀬 剛 志</td></tr> <tr> <td>生涯学習課長</td><td>高 橋 浩 一</td></tr> <tr> <td>図書館課長</td><td>和佐田 靖 子</td></tr> <tr> <td>文化財保護課長</td><td>吹 上 恵 一</td></tr> </table> ※総務課職員出席者 <table border="0"> <tr> <td>書 記</td><td>阿左美 裕 美</td></tr> <tr> <td>書 記</td><td>石 倉 雄 輔</td></tr> <tr> <td>書 記</td><td>神 部 結 衣</td></tr> </table>	教 育 部 長	二 上 哲 也	教 育 部 副 部 長	田部井 恵美子	総 務 課 長	大 平 貴 清	総務課政策調整担当	井 野 幸 枝	教育施設課長	井 上 宗 春	学校教育課長	神 立 誠	四ツ葉学園中等教育学校事務長	杉 原 啓 介	学 務 課 長	関 根 由 夏	健康給食課長	百 瀬 剛 志	生涯学習課長	高 橋 浩 一	図書館課長	和佐田 靖 子	文化財保護課長	吹 上 恵 一	書 記	阿左美 裕 美	書 記	石 倉 雄 輔	書 記	神 部 結 衣
教 育 部 長	二 上 哲 也																														
教 育 部 副 部 長	田部井 恵美子																														
総 務 課 長	大 平 貴 清																														
総務課政策調整担当	井 野 幸 枝																														
教育施設課長	井 上 宗 春																														
学校教育課長	神 立 誠																														
四ツ葉学園中等教育学校事務長	杉 原 啓 介																														
学 務 課 長	関 根 由 夏																														
健康給食課長	百 瀬 剛 志																														
生涯学習課長	高 橋 浩 一																														
図書館課長	和佐田 靖 子																														
文化財保護課長	吹 上 恵 一																														
書 記	阿左美 裕 美																														
書 記	石 倉 雄 輔																														
書 記	神 部 結 衣																														
開 会	——— 開会宣言 ——— 教育長から開会宣言があり、全員出席の旨の発言があった。																														
会議録署名委員の指名	——— 会議録署名委員の指名 ——— 教育長から会議録署名委員として矢島委員、佐塚委員、議案の説明者として教育部長、教育部副部長、総務課長、総務課政策調整担当、教育施設課長、学校教育課長、四ツ葉学園中等教育学校事務長、学務課長、健康給食課長、生涯学習課長、図書館課長、文化財保護課長の指名があった。																														
前回会議録の承認	——— 前回会議録の承認 ———																														

会議録署名委員の署名	12/22の会議録の承認を求め、承認された。 ——— 会議録署名委員の署名 ——— 12/22の会議録に署名をいただいた。 教育長、野口委員、矢島委員署名
教育長報告	——— 教育長報告 ——— 《学校教育課長》 1.「令和7年度文部科学大臣優秀教職員表彰の受賞者について」、資料を基に報告があった。 2.「令和7年度群馬県教職員表彰の受賞者について」、資料を基に報告があった。 3.「令和7年度市内幼小中学校美術展について」、12月6日から8日に人材派遣ワイズコーポレーション境総合文化センターで市内幼小中学校及び特別支援学校児童生徒の作品を展示公開した旨、資料を基に報告があった。 《四ツ葉学園中等教育学校事務長》 4.「令和8年度四ツ葉学園中等教育学校入学者選抜検査について」、志願状況及び倍率や1月24日に選抜試験を実施し、2月4日に合格者の発表をする旨、資料を基に報告があった。 《学務課長》 5.「令和7年度就学援助費認定率について」、資料を基に報告があった。 《図書館課長》 6.「伊勢崎検定「郷土史A」の実施について」、2月20日に伊勢崎市図書館で実施する旨、資料を基に報告があった。 7.「市史編さんシンポジウムの開催について」、3月15日に赤堀芸術文化プラザで開催される旨、資料を基に報告があった。 《野口委員》 文部科学大臣優秀教職員表彰、群馬県教職員表彰について、先生方の日ごろの取組を表彰されたことを嬉しく思いました。基本的な質問ですが、選考の基準やどのようなプロセスで受賞されたのか教えてください。 《学校教育課長》 まず、群馬県教職員表彰ですけれども、教育委員会から各学校長に依頼して教員を推薦していただきます。県の教職員表彰は大別して3つの部門がありまして、菊池教諭が受賞した貢献部門は50歳代の教員が対象です。それから荒井教諭、廣瀬教諭が受賞した優秀教職部門は40歳代の教員が対象です。また、今回は該当がありませんでしたが、奨励部門は30歳代の教員が対象です。市の教育委員会で各学校から推薦された教員を協議しまして、県の教育委員会に推薦させていただき、最終的に県の教育委員会で優秀者が決定されます。また、文部科学大臣表彰ですが、今年度受賞した中嶋教諭につきましては、令和3年度に県の優秀教職員部門で受賞されました。文部科学大臣優秀教職員表彰については、過去に県の優秀教職員表彰を受賞した教員の中から、県が文部科学大臣表彰に推薦し、受賞に至ったという経緯でございます。 《野口委員》 子どもたちの表彰はすごくたくさんあるのですが、先生方が受賞できる機会

は少ないという印象がありまして、こういった形で頑張っている先生方が受賞できる機会がもっとたくさんあるといいなと思います。

《里見委員》

伊勢崎検定「郷土史A」について、地元の歴史を学ぶきっかけとして非常に良い取り組みだと思います。今回が何回目になるのか、ということ。また、定員が30名ということですが、希望者数は定員に対してどのような状況でしょうか。最後に、受検をされた方の感想を教えてください。

《図書館課長》

まず、回数ですけれども、今年度が3回目です。1回目、2回目と土日に開催しましたが、働いている方のご意見をお伺いして、今回は初めて平日の夜に開催します。より参加しやすい形になると考えています。定員については変わらず30人ですが、去年は15人でした。参加者の平均点が100点中43点と、非常に内容が濃くなっていたかと思います。基本的には伊勢崎市史ですとか旧町村の市史をベースに作っていただいております。そちらをよく見ていただくと分かるようになっていきます。参加者からの感想としては、「改めて分かったことがありました。」「ちょっと難しかったですけどまた挑戦したいと思います。」という感想をいただいております。

《里見委員》

非常に有意義な取り組みなので、ぜひ市民の皆さんに周知をお願いしたいと思います。

《矢島委員》

美術展について、資料に「造形美術教育の一端を理解してもらう。」とありますが、家庭や地域の方々に感動を与えることなのかなと読み取ることができました。子どもたちが作品を作る時には創作する意図や偶然生まれてくる効果を体験できます。また、表現することへの挑戦、楽しさ、難しさを感じる機会を子どもたちに与えていただいたと感じています。課長さんをはじめ、学校の先生方に感謝を申し上げたいなと思っています。質問なんですが、展示会の代表作品はここに来ない子どもたちにも見られる機会はあるのでしょうか。

また、二点目に、就学援助費認定率について、学校生活の充実を目指すという認定の趣旨を説明いただきました。そして、丁寧な対応をされていることも説明がありました。昨年よりも71人、0.5%も認定の方が増えているということで、必要な方が支援を受けられている、という意味では良かったと思うと同時に、援助が必要な方が増えている社会でないといいなと思います。複雑な思いをしながら、この事業は必要な方に支援を届けていただいているのだと感じました。

三点目に市史編さんのシンポジウムについて、荘園が伊勢崎にもあったということがパンフレットで分かったんですけれど、トークセッションに大学の先生をはじめ、高校生が参加し、調査活動の成果を発表されるということでした。学校の授業を受けるということだけでなく、自律的な学習、自分の時間を使って自分の調べたいことを調べる、ということに挑戦する機会を作っていただいていることに感謝いたします。若い人たちが活躍できるシンポジウムなどの機会をぜひ作っていただきたいと思いますので、引き続きよろしくお願いします。

《学校教育課長》

美術展についてですが、各学校については学級ごとに出席できる作品が少な

いものですから、出展できない子どもたちの作品については校内で展示をしまして授業参観、保護者面談、また、地域の方については学校開放いたしまして見ていただくような対応としています。

《佐塚委員》

1と2の教職員表彰ですが、今年度は小学校の先生方が受賞しているようですけれども、中学校や幼稚園の先生も表彰されていらっしゃるのでしょうか。

また、3の市内幼小中学校美術展についてですけれども、展示会に行かせていただきました。夕方4時の遅い時間でしたが、たくさんの方が家族連れでいらっしゃいました。展示を見ていましたら、私の隣にいた同年代の方が「孫の作品を見てください。」と手を引っ張るように連れて行ってくださいました。境の3年生の作品でしたが、家庭での様子をお話いただきながら「リコーダーを吹く私」という題で、「手が素晴らしいでしょう。」と子どもの成長を目の当たりにして嬉しそうな様子に、私も嬉しくなりました。家庭での姿とは違う子どもの成長した姿を共有する素晴らしい機会になっているのだと感じました。

また、子どもの作品の題名を非常におもしろく拝見させていただきました。幼稚園では「ダイコンを掘っているわたし」という題で、目も髪もバサバサになって引っ張っているような個性的で生命力に溢れている絵がありました。また、中学生になると技術的に向上し、表現力もついてきて、先生方の教科指導力が発揮されていて、子どもが学んでいる姿を感じることができました。中学生は自画像が多いなと思いました。私は言葉を大事にしながら見る癖がありまして、自画像の題が「試行錯誤」とか「不安と悩み」とか「今を生きる私と未知の世界」とか、素晴らしい言葉の世界が作品の中に現れていて、自分の内面を見つめるいい機会になっているなと思いました。今はAIで作文でも美術作品でもできてしまう時代になっていますけど、時間をかけて自分の内面と出会って作品を作っていく体験は子どもたちに良い機会になっていると思います。

もう一つ、感想として、最近は風景画が少ないと感じています。私の昔の話ですけれども、美術の時間になると外に出て赤城山ばかり書いていた思い出があります。北小の6年生の中に「私の大切な風景」という題の中で3点ほど旧時報鐘楼の絵を見ましたが、故郷の風景をしっかりと見つめることはすごく大事なことであったと思います。自分の生まれ育ったところの身近な風景を鑑賞し、表現することは大事なことでと思います。身の回りのことを美術的な意識の中で活かしていくことが大事だと感じまして、お話しさせていただきました。

《学校教育課長》

優秀教職員表彰の件でございますが、昨年度の県の表彰者は3名のうち2名は中学校の教職員でございました。今回はすべて小学校教員ですが、中学校も対象でございます。幼稚園教諭につきましてはこちらの表彰は対象外です。

我々としては、子どもたちのふるさと学習というのもしておりますけれども、図工を通して絵を通して自分の故郷をしっかりと意識づけられるような創作活動を考えていきたいと思っています。

事前質問

—— 事前質問 ——
なし

議 事	——— 議案 ——— 議案 1 号「令和 8 年度教育費に係る伊勢崎市一般会計歳入歳出当初予算の見積りについて」教育長から上程があった。 教育部長から資料を基に説明がされた。 《里見委員》 令和 7 年度の予算に対して、増えているのか減っているのか、またその金額についても教えていただけますでしょうか。また、もう一つは主たる要因について、一つか二つ教えてください。 《教育部総務課長》 令和 7 年度の金額と主たる要因については後に調べてお伝えさせていただきます。 《矢島委員》 国の方でも話題に上がっている学校給食費無償化について、当初予算の中に含まれているのか伺いたいと思います。 《健康給食課長》 令和 8 年度から小学生分を無償化するという報道が出ています。実際に国や県を注視しながら令和 8 年度の無償化を進めていければと考えていますが、令和 8 年度の予算要求時にはまだその話が出ておりませんでしたので、小学生分の無償化は予算に含まれておりません。 《教育長》 給食費の無償化につきましては準備を進めております。今現在、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を活用して 1 月から 3 月まで小学校の給食費の無償化を行い、その延長線上で令和 8 年度についても無償化で進めていく、ということでございます。このあと議会でご審議いただくところですけれど、ご意見をいただきながら、実現に向けて進めていきたいところでございます。（そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。）
その他の事項	——— その他の事項 ——— ・ 次回の教育委員会の日程について 2 月 1 2 日（木）午後 2 時 市役所本館 5 階職員研修室
閉 会	——— 閉会宣言 ——— 以上により閉会する旨の宣言が教育長からあった。

伊勢崎市教育委員会会議録

令和8年2月12日

伊勢崎市教育委員会

開催年月日 開催の場所	令和8年2月12日（木） 市役所本館5階職員研修室 ◇ 会 議 日 程 ◇ 第1 開会宣言 第2 会議録署名委員の指名 第3 前回会議録の承認 第4 会議録署名委員の署名 第5 教育長報告 第6 事前質問事項 第7 議事 第8 その他の事項 第9 閉会宣言 ※出席委員 三 好 賢 治（教育長） 里 見 哲 也（教育長職務代理者） 野 口 理英子（委員） 矢 島 祐 介（委員） 佐 塚 公 代（委員） ※説明のため出席した者 教 育 部 長 二 上 哲 也 教 育 部 副 部 長 田部井 恵美子 総 務 課 長 大 平 貴 清 総務課政策調整担当 井 野 幸 枝 教育施設課長 井 上 宗 春 学校教育課長 神 立 誠 四ツ葉学園中等教育学校事務長 杉 原 啓 介 学 務 課 長 関 根 由 夏 健康給食課長 百 瀬 剛 志 生涯学習課長 高 橋 浩 一 図書館課長 和佐田 靖 子 文化財保護課長 吹 上 惠 一 ※総務課職員出席者 書 記 阿左美 裕 美 書 記 石 倉 雄 輔 書 記 神 部 結 衣	
開 会	—— 開会宣言 —— 教育長から開会宣言があり、全員出席の旨の発言があった。	
会議録署名委員の指名	—— 会議録署名委員の指名 —— 教育長から会議録署名委員として佐塚委員、里見委員、議案の説明者として教育部長、教育部副部長、総務課長、総務課政策調整担当、教育施設課長、学校教育課長、四ツ葉学園中等教育学校事務長、学務課長、健康給食課長、生涯学習課長、図書館課長、文化財保護課長の指名があった。	
前回会議録の承認	—— 前回会議録の承認 ——	

会議録署名委員の署名	1 / 19 の会議録の承認を求め、承認された。 ——— 会議録署名委員の署名 ——— 1 / 19 の会議録に署名をいただいた。 教育長、矢島委員、佐塚委員署名
教 育 長 報 告	——— 教育長報告 ——— 《総務課長、学校教育課長》 1. 「令和7年度「いせさき元気大賞」の受賞者について」、総務課長から、世界一大きな絵2025プロジェクトの群馬県代表として参加した、四ツ葉学園生徒会本部と美術部が受賞した旨、資料を基に報告があった。続けて、学校教育課長から、境南中学校区内の史跡を巡るオリジナルウォーキングマップの作成を行った、境南中学校美術部の生徒が受賞した旨、資料を基に報告があった。 《学校教育課長》 2. 「令和7年度移動音楽教室について」、群馬交響乐团による移動音楽教室が5日間の日程で行われ、市内の小学4、6年生、中学2年生、四ツ葉学園1～3年生、伊勢崎特別支援学校小学6年生及び中学2年生並びに希望した保護者が鑑賞した旨、資料を基に報告があった。 3. 「令和7年度ISESAKIプログラミングキャンプについて」、市内の中学校・中等教育学校2、3年生を対象に、2回の事前研修、3日間の東京での研修、事後研修の報告会が行われた旨、資料を基に報告があった。 《四ツ葉学園中等教育学校事務長》 4. 「令和8年度四ツ葉学園中等教育学校入学者選抜検査について」、1月24日に228名が選抜検査を受検し、判定会議、学校長の合否決定を経て、2月4日に男女各64名の合格者を発表した旨、資料を基に報告があった。 《図書館課長》 5. 「令和7年度いせさき学習堂 郷土文化講座＋ワークショップの開催について」、3月8日に赤石楽舎で、後藤大樹准教授を講師とし、銘仙に関する講座とブロックプリントを体験するワークショップを開催する旨、資料を基に報告があった。 《文化財保護課長》 6. 「令和7年度収蔵資料展「江戸・明治・大正を彩るおひなさま」及びパネル展「写真で全員集合！！伊勢崎出土の重要文化財埴輪」の開催について」、江戸・明治・大正期の雛人形の展示を2月13日から3月22日まで、伊勢崎市出土の重要文化財の埴輪に関するパネル・スライド展を2月13日から5月31日まで赤堀歴史民俗資料館で開催する旨、資料を基に報告があった。 《里見委員》 今回開催される郷土文化講座＋ワークショップは、いせさき学習堂の具体的な施策の一つとして実施されるものと認識しています。先月の定例会で報告のあった伊勢崎検定「郷土史A」も、いせさき学習堂の具体的な施策の一つと認識しています。以上を踏まえ、いせさき学習堂というもののコンセプトがありましたら教えてください。 《図書館課長》 学習堂とは、江戸時代に伊勢崎藩で藩士を教育するために設立された学校の

ことです。当時、地域には庶民の方が学ぶ郷学という場があり、学習堂はこれらの郷学に教材や講師を派遣し、学びを支援していました。学びを支援する伝統を現代の図書館の役割とし、図書館事業として、学びを提供する事業をいせさき学習堂を銘打って開催しています。主に郷土文化に関する事業を開催し、伊勢崎の文化に触れていただきたいという思いで行っています。

《矢島委員》

境南中学校のウォーキングマップの資料を見ましたが、中学生が自分の地元の文化財、史跡を史談会の方に聞きながら、歩き、再構築し、ウォーキングマップにまとめるのはすごいことだと思います。ウォーキングマップの絵も上毛かるたのような筆致ですごいなと思いました。説明書きも史談会の方に聞きながらコンパクトにまとめたものと推察されますが、コンパクトにまとめるということはとても大事なことだと思います。このような立派なことを、生徒が学校の先生や地域の方と連携して作ったということにとっても感動しました。こういったものを伊勢崎市民の方々だけでなく、全国の中学生や少し足腰の弱くなった大人の方々にも、紙ベースだけではなくデジタルツールを活用して発信してもらえると、元気が出るだろうと思いました。

《野口委員》

自分は、生成A Iに対し未だ恐怖感があり、なかなか活用できないと自覚していますが、様々な場所で利用されているのだらうと思います。今回、プログラミングチャレンジキャンプに参加された生徒が、事後研修でアプリを提案したというお話を伺いました。生成A Iは自分の生活とは離れたところにあると感じていましたが、おばあちゃんの薬の飲み忘れを防止するアプリの提案に、心が通っていると感じました。家族の困りごとを自分が勉強してきたことで解決しようという気持ちが伝わってくるような提案だと思い、とても心が温まりました。このような取り組みがより広がっていくといいなと思いました。

《佐塚委員》

いせさき元気大賞について、昨年の元気大賞は、個人で陸上や読書感想文、童話の制作などの分野で受賞された方がいらっしまったと思いますが、今回はこの2団体だけだったのでしょうか。

移動音楽教室について、四ツ葉学園は前期課程の1～3年生が一同に音楽鑑賞をするということなので、3年に1度行くと理解してよいのでしょうか。こちらは、保護者の方も多く出席されていてよかったと思いました。

I S E S A K I プログラミングチャレンジキャンプについて、おばあちゃんが薬を飲み忘れないようにするための、非常に生活に密着し、身近な問題の解消のためのアプリを提案するという能力、すなわち、気持ちの入った技術や能力を学んできたことに非常に感心いたしました。グローバルイングリッシュキャンプと並んでよい企画だと感じました。

四ツ葉学園の入学者選抜検査についても、採点に関して教員が全員で判定に入り、志願者の名前や小学校名を伏せて行うという細かな配慮がなされていて素晴らしいと思いました。

いせさき学習堂や赤堀歴史民俗資料館の収蔵資料展について、色々なところ、例えば大学と協力されており、古くからある伊勢崎銘仙をテキスタイルデザインという新たな視点から見ていくことは、伊勢崎に流れる織物のDNAを刺激するととても良い取り組みだと思います。このような活動について、図書

	館を中心として行っていただけるのは、新しい図書館の在り方などにも通じるとてもいい視点だと思いました。サテライト研究室にも今後期待をしていきたいと思います。赤堀歴史民俗資料館で行うカードゲームも慶應義塾大学の研究室と連携して行っており、大学との連携は非常に素晴らしい方向性だと思いました。 《学校教育課長》 移動音楽教室について、四ツ葉学園は3年に一度、1～3年生の前期課程の生徒が鑑賞するということになっています。 《総務課長》 いせさき元気大賞の受賞について、今年度、教育委員会に関係するのは2件の団体のみとなります。 《矢島委員》 移動音楽教室とISESAKIプログラミングチャレンジキャンプについて、来年度以降も継続されるのかについて伺いたいと思います。移動音楽教室に参加した子どもたちの感想を見ると、生の演奏だからこそ感じられたことが書いてあります。伊勢崎市が一人800円分の補助をすることで、子どもたちは安価で情操教育を受けることができおり、素晴らしい取り組みだと思います。プログラミングチャレンジキャンプも大きな成果が上がっており、子どもたちにも良い経験になっていると思います。今後も行うのかについて伺いたいです。 《学校教育課長》 移動音楽教室について、来年度も実施する方向で動いています。日程もある程度押さえ、会場も申請をしている状況です。プログラミングチャレンジキャンプについて、今年度初めて開催した事業であり、我々も成果を懸念していました。Apple本社に行きプログラミングに関することを体験しましたが、Apple社の社員の方も、全国的にこのような体験活動はないとおっしゃっていました。Apple社の方も非常に協力的で、生徒が体験する内容について丁寧に検討していただきました。最先端の機材で最先端の体験ができたという成果がありましたので、来年度も実施する方向で考えています。
事前質問	—— 事前質問 —— なし
議 事	—— 議案 —— 議案2号「令和7年度教育費に係る伊勢崎市一般会計歳入補正予算（第8号）の計上に係る臨時代理の承認について」教育長から上程があった。 教育部長から資料を基に説明がされた。 （質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。） 議案3号「令和7年度教育費に係る伊勢崎市一般会計歳入歳出等補正予算（第10号）の見積り等について」教育長から上程があった。 教育部長から資料を基に説明がされた。 《矢島委員》 歳出の10款教育費、6項社会教育費、1目社会教育総務費と2目公民館費

の委託料について、市が直接業務を行ったために減額になったという説明がありましたが、当該業務は通常委託で行っていたものでしょうか。減額幅が大きかったため質問いたしました。

《生涯学習課長》

当初、専門の資格を持った市職員の人員不足を見込み、建築業者に委託することを想定していましたが、建築課の専門職が自前で設計ができるということになったため、委託料を減額いたしました。

(そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。)

議案4号「令和8年度伊勢崎市教育行政方針案について」教育長から上程があった。

総務課長から資料を基に説明がされた。

《矢島委員》

個別施策⑤地域や関係機関との連携の中に、部活動の地域展開について追加していただきました。重要なことを加えていただきありがとうございます。また、個別施策⑪食育及び学校給食の充実の文言修正について、「食育指導とともに」から「学校給食を通して」と変更されましたが、内容がはっきりしたと思いました。

《里見委員》

個別施策⑤地域や関係機関との連携について、この施策は子どもたちの自律的な学びや多様な学びとのつながりが期待できる非常に重要な施策だと思います。今年度以上に、来年度においても充実を図っていただきたいと思います。

(そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。)

議案5号「伊勢崎市特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案について」教育長から上程があった。

学校教育課長から資料を基に説明がされた。

(質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。)

議案6号「伊勢崎市いじめ問題調査委員会規則の一部を改正する規則案について」教育長から上程があった。

学校教育課長から資料を基に説明がされた。

(質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。)

議案7号「伊勢崎市公民館運営審議会委員の委嘱に係る臨時代理の承認について」教育長から上程があった。

生涯学習課長から資料を基に説明がされた。

(質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。)

議案8号「伊勢崎市社会教育委員の委嘱に係る臨時代理の承認について」教育長から上程があった。

生涯学習課長から資料を基に説明がされた。

(質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。)

その他の事項 閉 会	議案 9 号「旧境消防署の土地の取得について」教育長から上程があった。 生涯学習課長から資料を基に説明がされた。 (質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。) ——— その他の事項 ——— ・ 次回の教育委員会の日程について 3 月 1 3 日 (金) 午後 1 時 3 0 分 市役所北館 4 階会議室 ——— 閉会宣言 ——— 以上により閉会する旨の宣言が教育長からあった。
--	---

伊勢崎市教育委員会会議録

令和8年3月13日

伊勢崎市教育委員会

開催年月日 開催の場所	令和8年3月13日（金） 市役所北館4階会議室 ◇ 会 議 日 程 ◇ 第1 開会宣言 第2 会議録署名委員の指名 第3 前回会議録の承認 第4 会議録署名委員の署名 第5 教育長報告 第6 事前質問事項 第7 議事 第8 その他の事項 第9 閉会宣言 ※出席委員 三 好 賢 治（教育長） 里 見 哲 也（教育長職務代理者） 野 口 理英子（委員） 矢 島 祐 介（委員） 佐 塚 公 代（委員） ※説明のため出席した者 <table border="0"> <tr> <td>教 育 部 長</td><td>二 上 哲 也</td></tr> <tr> <td>教 育 部 副 部 長</td><td>田部井 恵美子</td></tr> <tr> <td>総 務 課 長</td><td>大 平 貴 清</td></tr> <tr> <td>総務課政策調整担当</td><td>井 野 幸 枝</td></tr> <tr> <td>教育施設課長</td><td>井 上 宗 春</td></tr> <tr> <td>学校教育課長</td><td>神 立 誠</td></tr> <tr> <td>四ツ葉学園中等教育学校事務長</td><td>杉 原 啓 介</td></tr> <tr> <td>学 務 課 長</td><td>関 根 由 夏</td></tr> <tr> <td>健康給食課長</td><td>百 瀬 剛 志</td></tr> <tr> <td>生涯学習課長</td><td>高 橋 浩 一</td></tr> <tr> <td>図書館課長</td><td>和佐田 靖 子</td></tr> <tr> <td>文化財保護課長</td><td>吹 上 恵 一</td></tr> </table> ※総務課職員出席者 <table border="0"> <tr> <td>書 記</td><td>阿左美 裕 美</td></tr> <tr> <td>書 記</td><td>石 倉 雄 輔</td></tr> <tr> <td>書 記</td><td>神 部 結 衣</td></tr> </table>	教 育 部 長	二 上 哲 也	教 育 部 副 部 長	田部井 恵美子	総 務 課 長	大 平 貴 清	総務課政策調整担当	井 野 幸 枝	教育施設課長	井 上 宗 春	学校教育課長	神 立 誠	四ツ葉学園中等教育学校事務長	杉 原 啓 介	学 務 課 長	関 根 由 夏	健康給食課長	百 瀬 剛 志	生涯学習課長	高 橋 浩 一	図書館課長	和佐田 靖 子	文化財保護課長	吹 上 恵 一	書 記	阿左美 裕 美	書 記	石 倉 雄 輔	書 記	神 部 結 衣
教 育 部 長	二 上 哲 也																														
教 育 部 副 部 長	田部井 恵美子																														
総 務 課 長	大 平 貴 清																														
総務課政策調整担当	井 野 幸 枝																														
教育施設課長	井 上 宗 春																														
学校教育課長	神 立 誠																														
四ツ葉学園中等教育学校事務長	杉 原 啓 介																														
学 務 課 長	関 根 由 夏																														
健康給食課長	百 瀬 剛 志																														
生涯学習課長	高 橋 浩 一																														
図書館課長	和佐田 靖 子																														
文化財保護課長	吹 上 恵 一																														
書 記	阿左美 裕 美																														
書 記	石 倉 雄 輔																														
書 記	神 部 結 衣																														
開 会	——— 開会宣言 ——— 教育長から開会宣言があり、全員出席の旨の発言があった。																														
会議録署名委員の指名	——— 会議録署名委員の指名 ——— 教育長から会議録署名委員として里見委員、野口委員、議案の説明者として教育部長、教育部副部長、総務課長、総務課政策調整担当、教育施設課長、学校教育課長、四ツ葉学園中等教育学校事務長、学務課長、健康給食課長、生涯学習課長、図書館課長、文化財保護課長の指名があった。																														

前 回 会 議 録 の 承 認	——— 前回会議録の承認 ——— 2 / 1 2 の会議録の承認を求め、承認された。
会議録署名委員の署名	——— 会議録署名委員の署名 ——— 2 / 1 2 の会議録に署名をいただいた。 教育長、佐塚委員、里見委員署名
教 育 長 報 告	——— 教育長報告 ——— 《教育部長》 1. 「令和8年第1回伊勢崎市議会定例会における一般質問に対する答弁概要について」、資料を基に報告があった。 《矢島委員》 一般質問の答弁概要をお聞きし、とても分かりやすい資料だと思いました。 一点目に、市議会議員の方々への要望のような感想を申し上げます。第3期伊勢崎市教育振興基本計画の5年計画のうち1年目が終わりました。この計画には、伊勢崎市の教育行政がどこに重点を置いて進めているかということが書かれています。こちらを読んでいただいて質問することがよいのではないかと感じました。例えば、給食について書かれている計画を読むと、学校給食を通じた食育指導に取り組むということが書かれています。食育指導は、子どもたちが食を通して自分の生活や生きることの意味を考えることができる重要な指導だと思います。また、財政が厳しい中で安心安全な学校給食を安定的に提供すると書かれています。このような取り組みを達成するために教育行政ではかなり大きなエネルギーを使っていると感じます。市議会定例会の一般質問にありました質問からは、学校給食の現状に関する課題をどのように見出しているのかということを残念ながら理解することができませんでした。伊勢崎市の皆さんが頑張っていることに対し、それでいいのかということ在市議会議員の方々が問うものと思われそうですが、教育行政がよい方向に進むといいなと思いました。 二点目に、不登校の対策について申し上げます。不登校対策についての考えや方向性に関する答弁の中で強調されているのは居場所ということだと思います。物理的なスペースがあるということだけが居場所を指すということではないと答弁概要から推察されます。安心して利用できる居場所とは何かということを真剣に考えて取り組んでいることが分かります。ただ学校に戻すということが目標ではないことを伺い知ることができました。一方で、ほっとる〜むを利用した中学生の98.4パーセントが高等学校等への進学を果たしているという答弁もあり、力強い成果だなと思いました。 三点目に、新しい図書館のアピールポイントについて申し上げます。私はあまり英語が得意ではないと改めて思ったのが、カタカナが多く、インキュベーション機能は何なのかということが分かりませんでした。日本語で分かりやすい答弁があってもよいのではないかと思います。 《教育長》 この度の議会でも、現在の学校現場や広く社会教育も含めて市議会議員の方々に高い関心を持っていただき、質問をいただきました。質問をいただいたことで改めて事務局で問題を深掘りし、現状を振り返るきっかけにもさせてい

	いただきました。今後も真摯に議会での議論を積み重ねながら、教育行政の推進に努めてまいりたいと思います。 《佐塚委員》 新図書館の答弁に関して矢島委員さんの感想がありましたが、私も図書館協議会の委員を務めていたことがありました。令和4年に図書館協議会から中心市街地にぎわい創出拠点として図書館の移転を要望し、それから4年目となりましたが、この間に教育委員会や図書館課が一生懸命やっていただいて大変感謝しています。市民アンケート・学生アンケートや、いくつもの図書館ミーティングを開催していただきました。市民が参加し市民が学ぶ機会をたくさん創出していただき、非常にありがたいと感じました。図書館は教養をつけて調査研究する、それだけの場所というイメージがありましたが、時代の中で図書館の捉え方が変わってきたということも学ばせていただきました。市民に開かれた図書館の創出に向けて、現在も色々なことをしていただいて進行中ですが、この場を借りて労をねぎらいたいと思います。 《教育長》 これまでの市民参加によって新図書館の整備計画が立てられていますが、これからも市民の方々のご意見をいただきながら新図書館の建設に向かっていきたいと思います。 《里見委員》 市議会では教育行政に関して毎回たくさんのご質問をいただいています。これは、教育行政へのご関心の高さを表していると思います。市民の皆様からの期待や信頼、負託にお応えできるよう、教育委員会の役割が非常に重要であると4年間の任期を通じて感じました。
事前質問	—— 事前質問 —— なし
議 事	—— 議案 —— 議案第12号「伊勢崎市教育委員会事務局組織規則の一部を改正する規則案について」教育長から上程があった。 総務課長から資料を基に説明がされた。 （質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。） 議案第13号「伊勢崎市教育委員会会計年度任用職員の給与及び費用弁償の支給等に関する規則の一部を改正する規則案について」教育長から上程があった。 総務課長から資料を基に説明がされた。 《野口委員》 外国籍児童生徒支援コーディネーターは何人くらいでどのような体制で実施されるのでしょうか。 《総務課長》 一人体制の予定です。学校教育課の窓口で外国籍児童生徒が円滑に転入できるよう相談業務を実施するために新規で配置するものです。今までは学務課の窓口で日本語が話せないことを確認した場合、南小学校で入学相談を実施し、その後、初期適応指導校の南小学校、広瀬小学校、赤堀東小、境小で5日間の

初期適応指導を行った上で、通学区の学校で指導を行うこととなっております。この流れが令和 8 年度から学校教育課の窓口で就学者の日本語能力等の情報を把握しまして、就学先の学校につなげることに変わります。

《学校教育課長》

外国籍児童生徒支援コーディネーターの方ですが、教員免許をお持ちの方ということで、長年、正規の教員として日本語教室の担当教員として指導に当たられた方が任用になります。

《教育長》

今まで外国籍の児童生徒が就学をする際に、最初の説明をする学校、あるいは初期適応指導校、と何か所も回る必要があり、在籍校になかなかとり着かなかったものを、一か所でできるようにするものでございます。

(そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。)

議案第 14 号「市教育委員会が任命権を有する教職員の任免について」教育長から上程があった。

人事案件のため、非公開にて審議したい旨の発言があり、委員了承により非公開での審議となった。

議案第 15 号「伊勢崎市立学校における学校運営協議会規則の一部を改正する規則案について」教育長から上程があった。

学校教育課長から資料を基に説明がされた。

《佐塚委員》

コミュニティスクールと呼ばれている学校が 18 校になるということでしょうか。また、コミュニティスクールになると学校運営協議会が設置されるという考えでよろしいでしょうか。

《学校教育課長》

学校運営協議会が設置されている学校をコミュニティスクールと呼んでいます。学校運営協議会につきましては、学校経営の参画に密接に関わったり、校長の学校経営方針に意見を述べたり、学校課題の解決に向けて取り組んでいく、というような位置づけになります。それから現在の 15 校というのが、北小学校、南小学校、広瀬小学校、名和小学校、赤堀南小学校、あずま南小学校、境小学校、境采女小学校、第二中学校、第四中学校、殖蓮中学校、宮郷中学校、赤堀中学校、あずま中学校、境西中学校でございます。そこに新たに第一中学校、第三中学校、境南中学校を来年度からコミュニティスクールとして指定していくことになります。今後、すべての学校に学校運営協議会を配置したいと思うのですが、中学校区に小学校が 1 校、中学校が 1 校というところが、境西中学校区と境北中学校区でございます。現在、境西中学校と境采女小学校がコミュニティスクールとなっておりますので、境剛志小学校と境北中学校につきましては、学校運営協議会は設置せず、連携しながら進めたいと思います。

《佐塚委員》

境南中学校も入ってよかったと思います。この間、境南中学校の生徒が境史談会と境社会体育推進委員会と一緒にあって、ウォーキングマップを作ったことで、いせさき元気大賞にもなりましたし、地域との連携もより良いものになると思いますので期待ができると思います。

《里見委員》

学校運営協議会は地域との連携・協働に大変有意義な取組だと思しますので、ぜひ充実を図っていただきたいと思います。衆知を合わせる、力を合わせるというのが大切で、地域の皆さんと一体となって子どもたちの育成を進めていただければと思います。

(そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。)

議案第16号「伊勢崎市立学校の教育職員に関する業務量管理・健康確保措置実施計画案について」教育長から上程があった。

学校教育課長から資料を基に説明がされた。

《野口委員》

学校の先生方が置かれている状況について、広く市民の方に知っていただくことが大切だと思いました。また、業務の3分類に関するのですが、子どもが関わっていることになるとすべて学校が担うべき、と考える人が一部にすることが現実だと思います。なので、現状を知ってもらって地域の色々な方が子どもたちのことを担っていくことが大事だと思いますが、一方で、学校外の人たちが関わってくると、その調整に学校の先生が大変になってくることもあると思います。ですが、きちんと業務分類を整備して、先生方が教育者としてのスキルをきちんと磨いて力を発揮できるようにする、ということが大切だと思います。

《学校教育課長》

地域の方々との連携というところで、先ほどの議案第15号でも触れた学校運営協議会での委員さんと審議をし、どのように地域が学校と関わっていただけるかということも話し合っていて進めていきたいと思っております。また、それによって教師の業務が増えてしまうという心配もあるかと思います。ただ、地域の方々が学校に来ていただいて、授業や講演をしていただくというような、本物の経験に触れるということで非常に教育的効果があると思います。そこを業務の負担と考えるか、子どもたちのための業務と捉えるか、ということですが、我々は教師の業務の一つだろうと捉えておりますので、よろしくお願いします。

《矢島委員》

4ページの実施計画の中で、ネックになっている長時間勤務の解消が令和8年度から5%ずつ解消していく形となっています。それをどうやって実現していくのかということが、次のページのイ、ロ、ハと続いていくものですが、イというのが真っ先に学校の業務から切り離されていくものという理解でよろしいでしょうか。また、イの⑤についてですが、「学校が弁護士等の専門的知見を有する専門家と連携し、事案に応じた助言や支援を受けながら」とありますが、やはり学校が対応することになるということを見ると、力を入れてほしいとお願ひしたいです。また弁護士に相談するとなるとお金がかかることになるとは思いますが、財政的な支援についてもお願ひしたいと思ひます。

《学校教育課長》

実施計画につきましては、きちんと検討して課題があれば改善していきたいと考えております。時間外につきましては、年々減ってきている状況ではございますが、まだまだ改善の余地はあるかと思ひますので、来年度末には令和8

年度の結果をしっかりと検証して、令和9年度につなげていきたいと考えております。また、「業務の3分類」の⑤では、現状、中部教育事務所でスクールロイヤーをお願いすることができています。教育委員会を通じて、あるいは学校が直接に相談することは可能です。しかしながら、それだけでは対応が難しいところもございます。もちろん教育委員会も学校の伴走者として対応をしているところでございます。いろいろ改善をしていきたいと考えております。
(そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。)

議案第17号「伊勢崎市学校給食センター条例施行規則の一部を改正する規則案について」教育長から上程があった。

健康給食課長から資料を基に説明がされた。

《佐塚委員》

小学校の職員はどうなるのでしょうか。

《健康給食課長》

小学校の職員については、(3)幼稚園等に勤務する職員に含まれます。

《矢島委員》

物価高が話題になっている中で、大変苦勞されていることと思います。頑張ってください。よろしくお願いいたします。

《教育長》

物価高騰分は公費で補填しながら、学校給食の質を落とさないように頑張っていこうと思います。

(そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。)

議案第18号「伊勢崎市人権教育推進委員会委員の委嘱等に係る臨時代理の承認について」教育長から上程があった。

生涯学習課長から資料を基に説明がされた。

(質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。)

議案第19号「伊勢崎市指定天然記念物の指定解除について」教育長から上程があった。

文化財保護課長から資料を基に説明がされた。

(質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。)

議案第20号「伊勢崎市指定天然記念物の指定解除について」教育長から上程があった。

文化財保護課長から資料を基に説明がされた。

(質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。)

議案第21号「令和8・9年度 伊勢崎市スポーツ推進委員の委嘱について」教育長から上程があった。

スポーツ振興課長から資料を基に説明がされた。

(質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。)

その他の事項	——— その他の事項 ——— ・ 次回の教育委員会の日程について 4月21日（火）午後2時30分 市役所本館5階職員研修室
閉 会	——— 閉会宣言 ——— 以上により閉会する旨の宣言が教育長からあった。

伊勢崎市教育委員会会議録

令和8年3月24日

伊勢崎市教育委員会

開催年月日	令和8年3月24日（火）
開催の場所	伊勢崎市役所 本館4階教育委員会室 ◇ 会 議 日 程 ◇ 第1 開会宣言 第2 会議録署名委員の指名 第3 前回会議録の承認 第4 教育長職務代理者の指名 第5 その他の事項 第6 閉会宣言 ※出席委員 三 好 賢 治（教育長） 野 口 理英子（教育長職務代理者） 矢 島 祐 介（委員） 佐 塚 公 代（委員） 稲 葉 友 昭（委員） ※説明のため出席した者 教 育 部 長 二 上 哲 也 教 育 部 副 部 長 田部井 恵美子 総 務 課 長 大 平 貴 清 ※総務課職員出席者 書 記 阿左美 裕 美 教育長から、稲葉友昭委員が市長から辞令を交付された旨の報告があった。
開 会	——— 開会宣言 ——— 教育長から開会宣言があり、全員出席の旨の発言があった。
会議録署名委員 の指名	——— 会議録署名委員の指名 ——— 教育長から、会議の席次については現在着席の順とし、会議録署名委員として野口委員、矢島委員が指名された。 議案の説明者として教育部長、教育部副部長、総務課長の指名があった。
前回会議録の承認	——— 前回会議録の承認 ——— 3／13の会議録については、調整中のため署名はない旨の報告があった。
教育長職務代理者 の指名	——— 教育長職務代理者の指名 ——— 伊勢崎市教育委員会教育長職務代理者の指名について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第2項の規定に基づき、教育長職務代理者に野口委員が指名された。 教育長職務代理者について、総務課長から説明があった。
その他の事項	——— その他の事項 ——— ・ 次回の教育委員会の日程について

閉 会	4月21日（火）午後2時30分 本館5階職員研修室 —— 閉会宣言 —— 以上により閉会する旨の宣言が教育長からあった。
--------	--

伊勢崎市教育委員会会議録

令和8年4月21日

伊勢崎市教育委員会

開催年月日	令和8年4月21日（月）		
開催の場所	伊勢崎市役所 本館5階職員研修室		
	◇ 会 議 日 程 ◇		
	第1 開会宣言		
	第2 会議録署名委員の指名		
	第3 前回会議録の承認		
	第4 会議録署名委員の署名		
	第5 教育長報告		
	第6 事前質問事項		
	第7 議事		
	第8 その他の事項		
	第9 閉会宣言		
	※出席委員		
	三 好 賢 治（教育長）		
	野 口 理英子（教育長職務代理者）		
	矢 島 祐 介（委員）		
	佐 塚 公 代（委員）		
	稲 葉 友 昭（委員）		
	※説明のため出席した者		
	教 育 部 長	二 上 哲 也	
	教 育 副 部 長	高 橋 浩 一	
	総 務 課 長	大 平 貴 清（代理 阿左美 裕美）	
	教 育 施 設 課 長	小此木 利 夫	
	学 校 教 育 課 長	神 立 誠	
	四ツ葉学園中等教育学校事務長	杉 原 啓 介	
	学 務 課 長	坂 本 優 子	
	健 康 給 食 課 長	百 瀬 剛 志	
	生 涯 学 習 課 長	関 根 由 夏	
	図 書 館 課 長	町 田 拓 也	
	文 化 財 保 護 課 長	出 浦 崇	
	※総務課職員出席者		
	書 記	青 木 宏 太	
	書 記	石 倉 雄 輔	
	書 記	神 部 結 衣	
	令和8年4月1日付で教育長が再任し、教育長から挨拶があった。		
	《教育長挨拶》		
	第3期伊勢崎市教育振興基本計画「持続可能な共生のまちへ 豊かな学びを通した個人と社会のウェルビーイングの向上」、これを基本理念として教育行政を進めていきます。様々な多様性を包摂し、共に学び、協働して、その上で豊かな社会を築いていく、その基盤となるのが教育であると認識しています。幼児から高齢者まで、様々なライフステージに応じた学びを保証していく、学びを保証するための教育条件整備を行うのが、教育行政の仕事であると考えております。一方で、激しく変化をする時代、先行き不透明な時代にあって、学ぶことへのアクセス、そして学ぶこと自体が困難な方々もたくさんいます。貧困の問題、外国籍の子どもたち、さらには様々な障害を抱えるがゆえに学びが		

	困難になっている方々もいます。そうした方々への教育は、社会のセーフティネットとしての役割も果たします。さらに教育を通して、福祉や医療、司法といったことにアクセスできるプラットフォームとしての役割も果たしています。一つ一つの私たちの役割を大切にしながら、教育行政に取り組んでまいりたいと思っています。教育部の9課が所管している教育行政についても、たくさん課題を抱えています。子どもたちでいえば、不登校の問題、特別支援教育の問題、それを支えていく教職員をどうやって支えていくかという問題等があります。また、社会教育においても、教育施設において賑わいを創出しようとする図書館課の課題があります。これまでとは違った考え方で、地域づくりに社会教育がさらに貢献していこうとしているところです。そういった一つ一つの教育課題に真正面から向き合い、一步一步、教育を進めてまいりたいと思っていますので、皆様のお力添えをどうぞよろしくお願いします。私を含めて教育委員が、文字通りシビリアンコントロールで、21万市民の声を反映した教育行政を進めてまいりたいと思いますので、何卒よろしくお願いします。
開 会	——— 開会宣言 ——— 教育長から開会宣言があり、全員出席の旨の発言があった。
会議録署名委員の指名	——— 会議録署名委員の指名 ——— 教育長から会議録署名委員として矢島委員、佐塚委員、議案の説明者として教育部長、教育部副部長、総務課長、教育施設課長、学校教育課長、四ツ葉学園中等教育学校事務長、学務課長、健康給食課長、生涯学習課長、図書館課長、文化財保護課長の指名があった。
前回会議録の承認	——— 前回、前々回会議録の承認 ——— 3／13、3／24の会議録の承認を求め、承認された。
会議録署名委員の署名	——— 会議録署名委員の署名 ——— 3／13、3／24の会議録に署名をいただいた。 3／13 教育長、里見委員、野口委員署名 3／24 教育長、野口委員、矢島委員署名
教育長報告	——— 教育長報告 ——— 《四ツ葉学園中等教育学校事務長》 1.「群馬パーセントフォーアートについて」、カメラを通して多文化を再発見するアートプロジェクトをテーマに、四ツ葉学園中等教育学校の中学1、2年生11名が参加し、4月25日に西部公園で行われるイベントの中で発表する旨、資料を基に報告があった。 《文化財保護課長》 2.「田島弥平旧宅桑場保存整備工事について」、来訪者に建物を安全に見学してもらうため、可能な限り築造当初に近い復元を行う工事を実施する旨、資料を基に報告があった。 《野口委員》 四ツ葉学園のアートプロジェクトですが、定員15名で11名が参加したと

ということですが、申し込めば必ず参加できた状況だったのか、選考みたいなものがあったのか、教えていただけますか。

《四ツ葉学園中等教育学校事務長》

定員15名でございますので、選考なく決めさせていただきました。

《野口委員》

4月25日の発表会は、広報はどのように行うのでしょうか。

《四ツ葉学園中等教育学校事務長》

西部公園の多文化のごみ拾いですが、子どもたちが11チームくらいに分かれて、一斉にごみ拾いをするものであり、その中に四ツ葉学園の生徒が1チームに1人ずつ入って、多文化交流ですとか、多文化について感じていること、活動していることを発表するというシェアタイムがあります。こちらについては、多文化共生課が広報誌などで広報を行っております。

《教育長》

四ツ葉学園の生徒が、どういう切り口で発表するか大変興味があります。参加者だけではもったいないと思いますので、多くの人に聞いてもらえるよう、ぜひ広報していただければと思います。

《四ツ葉学園中等教育学校事務長》

今回はスポンサーに群馬県がついています。子どもたちが学んだことをドキュメンタリー形式で整理し、発表すると聞いております。

《教育長》

そういった方法も含めて、せっかくですから周知していただきたいと思います。

《矢島委員》

四ツ葉学園の生徒さんが申し込まれたということですが、市内の他の高校の生徒さんたちには声がかかったのでしょうか。このプロジェクトが、大々的に整理されて、発信されることを期待しています。

田島弥平旧宅桑場保存整備工事ですが、安全と復元を共存させながら修復を進めていくというお話を受けて、大変難しい作業に取り掛かっていくんだなと感じました。ぜひ頑張ってもらいたいと思います。当時の方々の知恵や思いが込められている貴重な建物であると思いますので、ぜひ成果が出るようお願いしたいと思います。解体して、その材料を使って、再度作り上げていくのでしょうか。どういう工事になるのか、お分かりになる範囲で教えてください。

《四ツ葉学園中等教育学校事務長》

このプロジェクトといいますのが、少数の人間に対して、プロがきめ細かくいろいろな視点で指導しながら行うというもので、大人数には向かないということで、今回、四ツ葉学園がモデルとなってやらせていただきました。それ以外の高校には声がかかっていないという認識でおります。広報については、できる限りの発信をしていきたいと思っております。

《文化財保護課》

桑場の工事につきましては、古い建物ですので、ただけでは破損状況が分かりません。一度解体をしてみて、専門家の先生に調査をしていただいて、目に見えなかった破損箇所も全部細かに調査をしていただいて、使える部材はそのまま使い、だめなものは新しいもので補修します。

事前質問 議 事	《佐塚委員》 四ツ葉学園のプロジェクトについてですが、四ツ葉学園では昨年度もユネスコスクールにSDGsの観点から認定されておりますし、素晴らしいことだなと思いました。体験活動というのは、四ツ葉学園だけでなく、市内の小中学校でも非常に一生懸命やっているといます。こちらは県の事業ですけれども、ドキュメンタリーで総仕上げというような形にならずに、アートがまちづくりの中に入ってくるといいなというふうに思いました。 —— 事前質問 —— なし —— 議案 —— 議案第22号「令和7年度教育費に係る伊勢崎市一般会計歳入歳出等補正予算（第11号）の計上に係る臨時代理の承認について」教育長から上程があった。 教育部長から資料を基に説明がされた。 （質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。） 議案第23号「伊勢崎市教育委員会会計年度任用職員の勤務時間、休暇等に関する規則の一部を改正する規則に係る臨時代理の承認について」教育長から上程があった。 総務課長から資料を基に説明がされた。 （質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。） 議案第24号「伊勢崎市臨海学校条例施行規則の一部を改正する規則に係る臨時代理の承認について」教育長から上程があった。 教育施設課長から資料を基に説明がされた。 《矢島委員》 これまでは市教育委員会が管理していた部分を指定管理者に切り替えたわけですが、この業者が来年度以降も継続できる見通しをお伺いします。 《教育施設課長》 指定管理者ですけれども、株式会社日本水泳振興会というところになります。現在32施設において指定管理業務を行っております。臨海学校のある長岡市では、新潟県立長岡屋内総合プールの指定管理者として指定管理業務を行っております。また、指定管理業務以外では、長岡市から複数の海水浴場において、水難事故防止業務や水深調査の業務を委託しております。令和7年度には本市臨海学校において、水難事故防止業務、ライフセーバー業務の受注者でもありました。地元長岡市内に事業所があることから、万が一の事故発生時等においても、長年の経験と知識に基づいた迅速な対応が可能であると考え、株式会社日本水泳振興会にお願いすることになったところでございます。その株式会社日本水泳振興会が持続して臨海学校の指定管理を続けていてもらえるように、指定管理の期間を5年とし、指定管理者が長期的な展望による積極的な事業展開を図れるように考えております。また、安定した雇用の実現による優秀な人材の確保も併せて行ってもらおうということで、指定管理者の導入に伴って、これまで5月から10月までとっていた貸出期間を4月から11月ま
------------------------	---

その他の事項 閉 会	でに延長しております。また、一般利用の対象者を市内在住、在勤、通学としていた範囲を廃止し、寺泊の方々にも利用が可能な状況にして、指定管理者の持続を今後も図っていきたいと考えているところです。臨海学校は小学5年生で体験するので、大切な事業だと考えておりますので、その継続が図れるように今後も努めていきたいと考えております。 (そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。) 議案第25号「伊勢崎市いじめ問題対策連絡協議会委員の委嘱等に係る臨時代理の承認について」教育長から上程があった。 学校教育課長から資料を基に説明がされた。 (質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。) ———— その他の事項 ———— ・ 次回の教育委員会の日程について 5月19日(火) 午後2時 本館5階職員研修室 ———— 閉会宣言 ———— 以上により閉会する旨の宣言が教育長からあった。
--------------------------	--

伊勢崎市教育委員会会議録

令和8年5月19日

伊勢崎市教育委員会

開催年月日	令和8年5月19日（火）
開催の場所	伊勢崎市役所 本館5階職員研修室
	◇ 会 議 日 程 ◇
	第1 開会宣言
	第2 会議録署名委員の指名
	第3 前回会議録の承認
	第4 会議録署名委員の署名
	第5 教育長報告
	第6 事前質問事項
	第7 議事
	第8 その他の事項
	第9 閉会宣言
	※出席委員
	三 好 賢 治（教育長）
	野 口 理英子（教育長職務代理者）
	矢 島 祐 介（委員）
	佐 塚 公 代（委員）
	稲 葉 友 昭（委員）
	※説明のため出席した者
	教 育 部 長 二 上 哲 也
	教 育 副 部 長 高 橋 浩 一
	総 務 課 長 大 平 貴 清
	教 育 施 設 課 長 小此木 利 夫
	学 校 教 育 課 長 神 立 誠
	四ツ葉学園中等教育学校事務長 杉 原 啓 介
	学 務 課 長 坂 本 優 子
	健 康 給 食 課 長 百 瀬 剛 志
	生 涯 学 習 課 長 関 根 由 夏
	図 書 館 課 長 町 田 拓 也
	文 化 財 保 護 課 長 出 浦 崇
	※総務課職員出席者
	書 記 阿左美 裕 美
	書 記 石 倉 雄 輔
	書 記 神 部 結 衣
開 会	——— 開会宣言 ——— 教育長から開会宣言があり、全員出席の旨の発言があった。
会議録署名委員の指名	——— 会議録署名委員の指名 ——— 教育長から会議録署名委員として佐塚委員、稲葉委員、議案の説明者として教育部長、教育部副部長、総務課長、教育施設課長、学校教育課長、四ツ葉学園中等教育学校事務長、学務課長、健康給食課長、生涯学習課長、図書館課長、文化財保護課長の指名があった。
前 回 会 議 録 の 承 認	——— 前回会議録の承認 ——— 4／21の会議録の承認を求め、承認された。

会議録署名委員の署名	——— 会議録署名委員の署名 ——— 4 / 21 の会議録に署名をいただいた。 教育長、矢島委員、佐塚委員署名
教 育 長 報 告	——— 教育長報告 ——— なし
事 前 質 問	——— 事前質問 ——— なし
議 事	——— 議案 ——— 議案第26号「令和7年度伊勢崎市教育委員会事業点検・評価報告書（案）について」教育長から上程があった。 総務課長から資料を基に説明がされた。 《矢島委員》 青木教授のご意見を読み、感じたことを申し上げます。14ページですが、教育委員会の施策や取組は、基本理念と基本方針をしっかりと認識し、市民の力・地域の力を活かすことを考えられていると評価されています。教育委員会の取組が、時代のニーズについて十分理解し、教育の方向性や施設づくりの在り方が良い方向に進んでいるという良い評価をいただいております、大変力強いと感じました。また、大きな仕事を皆さんと一緒にやっているところですが、取組の方向性を再認識することができました。 また、17ページの重点施策7について、郷土に目を向けた「いせさき学習堂」の事業についても高い評価をされています。その中には市史編さんのことも書かれており、その中で感じたことですが、郷土に目を向けた学習の中で、自然を扱う学習について、青木教授のご意見の中に書かれていなかったことが印象に残り、この部分を強化しなければならないと感じました。本日、机上に市史編さん室が作成した埴輪に関する報告書を配付していただきました。人間の歴史、文化については大変力を入れて施策を展開されており、それが評価を受けていますが、その土台となっている郷土の自然について、子どもたちや市民の方々がどのように学習していくかという視点については、強化していかねばならないと感じました。 《教育長》 自然に関する学びは、教育委員会の施策だけではなく、環境政策課をはじめ、環境省が進めている「30by30」などについても全庁的に取り組もうとしております。教育委員会の所管するところにとどまらず、全庁的な学びとして取り組むこととなります。 市史編さんにおいては、自然史編の編さんについて矢島委員に大変お世話になっております。多くの市民に参加していただき、市史編さんを通して現在の郷土史を知るという学びの機会もごございます。そのようなことを、今後、行政評価においても明確にしていけることが大切なのではないかと考えております。（そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。）

議案第 27 号「伊勢崎市奨学生選考委員会委員の委嘱等に係る臨時代理の承認について」教育長から上程があった。

総務課長から資料を基に説明がされた。

(質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。)

議案第 28 号「伊勢崎市学校運営協議会委員の委嘱等に係る臨時代理の承認について」教育長から上程があった。

学校教育課長から資料を基に説明がされた。

《佐塚委員》

感想になりますが、中学校の委員名簿を見させていただいたところ、すべての学校に公民館の館長がいらっしゃるの、すごくいいことだと思います。公民館のコーディネーターとして地域の子どもたちを見守っていく、特に長期のおやすみ、夏休みに力を入れていくというお話があるらしく、活発になっていくことと思います。

私はよく公民館の講座を利用させていただいているんですけども、割と高齢者が多かったりしています。地域の交流が希薄になっているということもあって、公民館の方が学校と一緒に地域活動を見守っていただくことが大事だと思います。期待したいと思っています。また、公民館の職員の方が学ぶ機会というのを作っていただけるとより良いと思いました。

それから夏休みの時に絵画教室に出させていただいたんですけども、会場が工作室でした。工作室は大人向けに作られていて、小学生が手洗いや水彩の筆を洗うのに手が届かないのですね。設備の面にも心配りをいただいて、どのようなものがよいのか考えていくことも必要だと思います。

《教育長》

コミュニティスクールと学校地域協働活動、そのコーディネートを公民館館長にお世話になり、地域で学校を育てる、学校が地域を活性化する取り組みを行っているところです。

《学校教育課長》

学校運営協議会の委員に公民館の館長が入っているというところで、実は以前は小学校の学校運営協議会にも入っておりました。今回、拡充していくにあたって公民館の館長がそれぞれの学校運営協議会に属すると負担も大きいということで、中学校の委員に入らせていただいております。実際には、小学校の協議会にはオブザーバーとして、できる範囲で参加いただいております。

(そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。)

議案第 29 号「伊勢崎市社会教育委員の委嘱に係る臨時代理の承認について」教育長から上程があった。

生涯学習課長から資料を基に説明がされた。

(質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。)

議案第 30 号「伊勢崎市公民館運営審議会委員の委嘱に係る臨時代理の承認について」教育長から上程があった。

生涯学習課長から資料を基に説明がされた。

(質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。)

その他の事項 閉 会	議案第31号「伊勢崎市史編さん委員会委員の委嘱等に係る臨時代理の承認について」教育長から上程があった。 図書館課長から資料を基に説明がされた。 《佐塚委員》 私が委員になっているのでお伺いしますが、市史編さんは高い専門性が必要になると思いますが、市史編さん委員はどのような心づもりや立場で臨めばいいのか、アドバイスがあればお願いします。 《図書館課長》 委員の中には学識経験者が何名いらっしゃいますが、そのほかの関係団体の方からは、それぞれの見地から、市史編さんの今後の在り方や活かし方のご意見をいただいています。専門的な部分は専門委員会を構成しておりますので、ご自身の見地や教育委員としての意見をいただければありがたいと考えています。 (そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。) ——— その他の事項 ——— ・ 次回の教育委員会の日程について 6月23日(火) 午後2時 赤石楽舎 ——— 閉会宣言 ——— 以上により閉会する旨の宣言が教育長からあった。
--------------------------	--

伊勢崎市教育委員会会議録

令和8年6月23日

伊勢崎市教育委員会

開催年月日 開催の場所	令和8年6月23日（火） 赤石楽舎 ◇ 会 議 日 程 ◇ 第1 開会宣言 第2 会議録署名委員の指名 第3 前回会議録の承認 第4 会議録署名委員の署名 第5 教育長報告 第6 事前質問事項 第7 議事 第8 その他の事項 第9 閉会宣言 ※出席委員 三 好 賢 治（教育長） 野 口 理英子（教育長職務代理者） 矢 島 祐 介（委員） 佐 塚 公 代（委員） 稲 葉 友 昭（委員） ※説明のため出席した者 <table border="0"> <tr> <td>教 育 部 長</td><td>二 上 哲 也</td></tr> <tr> <td>教 育 副 部 長</td><td>高 橋 浩 一</td></tr> <tr> <td>総 務 課 長</td><td>大 平 貴 清</td></tr> <tr> <td>教 育 施 設 課 長</td><td>小此木 利 夫</td></tr> <tr> <td>学 校 教 育 課 長</td><td>神 立 誠</td></tr> <tr> <td>四ツ葉学園中等教育学校事務長</td><td>杉 原 啓 介</td></tr> <tr> <td>学 務 課 長</td><td>坂 本 優 子</td></tr> <tr> <td>健 康 給 食 課 長</td><td>百 瀬 剛 志</td></tr> <tr> <td>生 涯 学 習 課 長</td><td>関 根 由 夏</td></tr> <tr> <td>図 書 館 課 長</td><td>町 田 拓 也</td></tr> <tr> <td>文 化 財 保 護 課 長</td><td>出 浦 崇</td></tr> <tr> <td>ス ポ ー ツ 振 興 課 長</td><td>国 定 成 世</td></tr> </table> ※総務課職員出席者 <table border="0"> <tr> <td>書 記</td><td>阿左美 裕 美</td></tr> <tr> <td>書 記</td><td>石 倉 雄 輔</td></tr> <tr> <td>書 記</td><td>神 部 結 衣</td></tr> </table>	教 育 部 長	二 上 哲 也	教 育 副 部 長	高 橋 浩 一	総 務 課 長	大 平 貴 清	教 育 施 設 課 長	小此木 利 夫	学 校 教 育 課 長	神 立 誠	四ツ葉学園中等教育学校事務長	杉 原 啓 介	学 務 課 長	坂 本 優 子	健 康 給 食 課 長	百 瀬 剛 志	生 涯 学 習 課 長	関 根 由 夏	図 書 館 課 長	町 田 拓 也	文 化 財 保 護 課 長	出 浦 崇	ス ポ ー ツ 振 興 課 長	国 定 成 世	書 記	阿左美 裕 美	書 記	石 倉 雄 輔	書 記	神 部 結 衣
教 育 部 長	二 上 哲 也																														
教 育 副 部 長	高 橋 浩 一																														
総 務 課 長	大 平 貴 清																														
教 育 施 設 課 長	小此木 利 夫																														
学 校 教 育 課 長	神 立 誠																														
四ツ葉学園中等教育学校事務長	杉 原 啓 介																														
学 務 課 長	坂 本 優 子																														
健 康 給 食 課 長	百 瀬 剛 志																														
生 涯 学 習 課 長	関 根 由 夏																														
図 書 館 課 長	町 田 拓 也																														
文 化 財 保 護 課 長	出 浦 崇																														
ス ポ ー ツ 振 興 課 長	国 定 成 世																														
書 記	阿左美 裕 美																														
書 記	石 倉 雄 輔																														
書 記	神 部 結 衣																														
開 会	——— 開会宣言 ——— 教育長から開会宣言があり、全員出席の旨の発言があった。																														
会議録署名委員の指名	——— 会議録署名委員の指名 ——— 教育長から会議録署名委員として稲葉委員、野口委員、議案の説明者として教育部長、教育部副部長、総務課長、教育施設課長、学校教育課長、四ツ葉学園中等教育学校事務長、学務課長、健康給食課長、生涯学習課長、図書館課長、文化財保護課長、スポーツ振興課長の指名があった。																														

前回会議録の承認	——— 前回会議録の承認 ——— 5 / 19 の会議録の承認を求め、承認された。
会議録署名委員の署名	——— 会議録署名委員の署名 ——— 5 / 19 の会議録に署名をいただいた。 教育長、佐塚委員、稲葉委員署名
教 育 長 報 告	——— 教育長報告 ——— 《教育部長》 1. 「令和8年第3回伊勢崎市議会定例会における一般質問に対する答弁概要について」、資料を基に報告があった。 《学校教育課長》 2. 「中学生グローバルイングリッシュキャンプについて」、東京グローバルゲートウェイにて7月27日より3泊4日間行われる本研修に先立ち、5月26日に第1回事前研修が行われた旨、資料を基に報告があった。 3. 「伊勢崎市立幼稚園説明会について」、伊勢崎市立幼稚園をより知ってもらうため、4月25日にあかぼり幼稚園、5月10日に名和幼稚園にて説明会が行われ、7月25日に第一幼稚園にて説明会が行われる予定である旨、資料を基に報告があった。 《生涯学習課長》 4. 「少年の主張伊勢崎市大会の開催について」、6月25日午後2時からあずまホールにおいて開催する旨、資料を基に報告があった。 《文化財保護課長》 5. 「赤堀歴史民俗資料館企画展「土器ドキモンスター大集合」の開催について」、6月12日から8月30日まで開催すること、土器ドキモンスターとしてキャラクター化された9体のモンスターのモデルとなった土器や埴輪、それらの関連資料など、併せて約40点が展示される旨、資料を基に報告があった。 《稲葉委員》 外国籍児童・生徒の教育についての答弁概要の中で、日本語教室担当教員や外国籍児童生徒学校生活支援助手、巡回型日本語指導コーディネーターという職種が記載されていますが、こちらの職種は資格が必要でしょうか。 《学校教育課長》 日本語教室担当教員は県費負担の正規教員です。日本語指導に関する資格は持っていませんが、日本語指導についての研修を受講した教員が担当しています。また、外国籍児童生徒学校生活支援助手は、ポルトガル語、スペイン語、ベトナム語、英語などの会話ができる方を、会計年度任用職員として任用しています。さらに、巡回型日本語指導コーディネーターについても正規教員が担っており、日本語指導が必要な学校に市内巡回をして該当する児童生徒の日本語指導に当たっています。 《教育長》 巡回型日本語指導コーディネーターについては、日本語教室での指導経験が豊富な教員が巡回型の指導に当たっています。 《矢島委員》 日本語の学習支援について、学校では日本語教室を設置したり巡回型日本語

	指導コーディネーターを派遣したりして対応していることが記載されており、学校以外では子ども日本語教室未来塾を実施していることが記載されています。未来塾ではどのような方が指導されているかということと、未来塾に対して行っている市の支援内容を教えてください。 《総務課長》 子ども日本語教室未来塾の支援員は、塾を経営している方や元教員の方などが、ボランティアで外国籍児童生徒の指導に携わっています。また、共愛学園前橋国際大学の学生も、授業の一環として子どもたちに勉強を教えています。市の支援内容としましては、支援員には一回当たり二千百円の報酬を市が支払っています。また、テキスト代についても、支援員が児童生徒の学習に適した教材を書店で購入した代金について、五万円を限度に市が支払っています。 《佐塚委員》 外国籍の児童生徒が自己の能力や可能性を最大限に発揮し、地域社会の一員として活躍できるように環境の整備に取り組んでいるという内容の答弁に感動しました。地域社会が育てていくということは大事なことだと思います。また、本市独自の指導資料「つながる・ひろがる I S E S A K I ステップ」について、どのような内容のものなのかを教えてください。 《学校教育課長》 「つながる・ひろがる I S E S A K I ステップ」は、それぞれの子どもたちの日本語習得状況により、段階的にどのような日本語の指導をしたらいいのかということが事細かく書かれており、日本語教室の担当教員がそれをもとにそれぞれの子どもに適した日本語指導を行うための計画作成方法が記載されたものです。また、ただ日本語を教えるだけではなく、子どもたちの背景にあることも指導者がしっかりと把握しながら指導するというような内容も網羅されています。
事前質問	—— 事前質問 —— なし
議 事	—— 議案 —— 議案第 3 2 号「令和 9 年度伊勢崎市立幼稚園の定員について」教育長から上程があった。 学務課長から資料を基に説明がされた。 《佐塚委員》 国の設置基準が一学級 3 5 人から 3 0 人に引き下げられたと思いますが、一人一人を大事にし、質の高い幼児教育ができる数だと思うので大変嬉しく思います。伊勢崎市の幼稚園の定数は昨年と同じで、国の設置基準が 3 5 人だった年も伊勢崎市は独自に 3 0 人としていたと思います。先ほどの説明では、第一幼稚園、あかぼり幼稚園、あずま幼稚園の 4、5 歳児の定員が変わらず 4 0 人ということでした。設置基準が全国的には 3 0 人以下という数も出ているところです。今後も続けて伊勢崎らしい環境整備を行っていただき、周りとの関係もあると思いますので、他の所の定員はどのようなになっているのか、調査研究をしていただいて、第一幼稚園、あかぼり幼稚園、あずま幼稚園の定員も今後検討していただけるとありがたいと思いました。

また、一昨年頃から長期休業中の預かり保育が始まり、全園で学校給食の提供が始まりました。さらに今年度から満3歳児の受け入れも開始されましたが、始まったばかりなのですぐに効果が分かるものではないと思います。昨年の5月頃の定員は600人中300人近かったと思います。今年の在園者数は何名でしょうか。もし分かるようであれば増加傾向にあるのかどうかについても教えてください。

《学務課長》

幼稚園の定員につきましては、国の基準が35人であったところを伊勢崎市は手厚い教育を行うため、30人としていました。4、5歳児のクラスが40人の園もあり定員が以前と変わらないということにつきましては、40人というのは第一幼稚園、あかぼり幼稚園、あずま幼稚園の各園が4、5歳児を受け入れできる定員のため、1クラスの定員としている30人を超えた際には2クラスに分けて編成されます。先ほどのご質問にありました5月1日時点の在園児数は284人です。少子化の進行に伴って幼稚園の入園者数は減少傾向ですが、満3歳児の受け入れや預かり保育の時間の拡充など、充実が図られていることから、令和9年度も定員数を減らすことなく令和8年度と同様としました。午前8時から午前9時、午後5時から午後6時の預かり保育の利用者数も増えているところなので、今すぐに定員を減らすということではなく、しばらく様子を見て、他市の状況も鑑みながら検討したいと思います。

《教育長》

公立幼稚園につきましては、子育て支援という視点や、直接保護者の方から様々なニーズをいただいて、それに応じて先ほどのような取組を行っています。また、その取組を知っていただくために、学校教育課長から報告がありました幼稚園説明会や公立幼稚園フェスタ、いせさきプレ幼稚園を開催しています。いせさきプレ幼稚園は年間60回ほど開催しており、全ての幼稚園で3歳以下のお子さんを受け入れて、公立幼稚園の取組をお伝えしているところです。公立幼稚園を利用する保護者の方が増えると良いと思って取り組んでいます。

(そのほか質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。)

議案第33号「伊勢崎市学校給食運営委員会委員の委嘱等に係る臨時代理の承認について」教育長から上程があった。

健康給食課長から資料を基に説明がされた。

(質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。)

議案第34号「伊勢崎市人権教育推進委員会委員の委嘱等に係る臨時代理の承認について」教育長から上程があった。

生涯学習課長から資料を基に説明がされた。

(質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。)

議案第35号「伊勢崎市スポーツ推進審議会委員の委嘱に係る臨時代理の承認について」教育長から上程があった。

スポーツ振興課長から資料を基に説明がされた。

(質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。)

その他の事項 閉 会	議案第３６号「伊勢崎市教育支援委員会規則の一部を改正する規則に係る臨時代理の承認について」教育長から上程があった。 学校教育課長から資料を基に説明がされた。 (質問等はなく、全員異議なく原案のとおり可決された。) ——— その他の事項 ——— ・ 次回の教育委員会の日程について 7月21日(火) 午後2時30分 市役所本館5階職員研修室 ——— 閉会宣言 ——— 以上により閉会する旨の宣言が教育長からあった。
--------------------------	---